



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

気分障害専門外来を受診し、バイオバンクにご同意いただいた方で
うつ病、双極性障害、その他の気分障害と診断された方

【研究課題名】

気分障害外来患者を対象とした縦断的研究

【研究責任者】

住吉太幹(国立精神・神経医療研究センター 気分障害センター)

【本研究の目的及び意義】

本研究は、気分障害患者の転帰を予測する心理・社会・生物学的要因を調査することを目的とした観察研究です。気分症状、認知機能などの心理検査データ、心理社会的評価尺度（質問紙法）、身体機能や活動性の指標、血液、MRIおよび光トポグラフィー検査を縦断的に収集し解析することで、気分障害に対する診断や治療に資する知見が得られます。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿、血清）

心理検査結果、既往歴、教育年数、アレルギー、家族歴、喫煙歴、飲酒歴、女性に関連する項目

【研究期間】

研究開始日～2026年3月31日

【提供を開始する予定日】

2024年9月頃を予定しています。

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)